

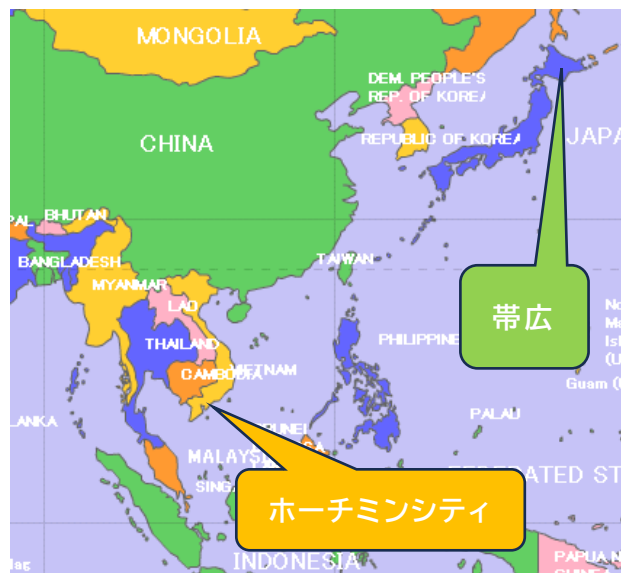
HCMC Chronicle

ホーチミン日本人学校
川上 裕明

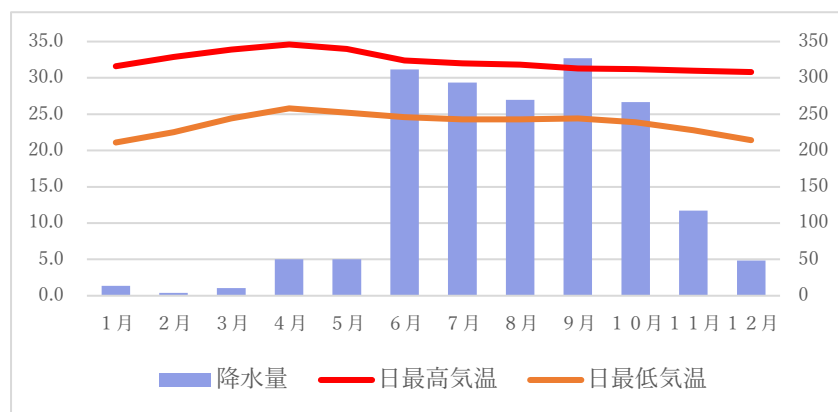
暑い……

ここ、ベトナム南部のホーチミンシティでは、1年間で4月が一番暑いとされています。

帯広から南西へ約 5,000 km、熱帯のサバナ気候に属するホーチミンシティの4月は、一日の平均気温が約30℃、最高気温は35℃を超える日も珍しくありません。暑さ指数 WBGT が登校時すでに 31 を超えている日もあり、教員の情報共有 LINE では「そろそろ注意、水分とって」「屋外体育は中止」などの連絡が飛び交います



下のグラフは、日本の気象庁による 1991～2020 年のホーチミン気象データ平均値です。確



かに「1年間で4月が一番暑い」に違いはありませんが、1年間を通して、最高気温は30℃、最低気温でも20℃を下回ることがないのがわかります(……)。

地元の人、「5月を過ぎたら雨期に入るので、夕方雨が降った後は涼しくなりますよ」と、気

温グラフにうなだれる北海道人には響きづらい慰めの言葉をかけてくれるのですが。

ご挨拶が遅れました

令和7年4月よりホーチミン日本人学校に着任しました、川上裕明です。

在外教育施設には、平成6年から香港日本人学校中学部に派遣されて以来、二度目の派遣となりました。3月に北海道教育委員会から退職辞令と退職金をいただいてしまったので、もう怖いものではありません(……)。これまで身につけた全てを発揮し、児童生徒や教職員、保護者や地域の方々みなさんと新しいホーチミン日本人学校を作るためにやってきました。

この『ホーチミンシティ クロニクル』では、ホーチミン日本人学校の学校生活やホーチミンシティでの生活の様子などを、私の視点で日本の皆さんにお伝えしていこうと思っています。

ホーチミン日本人学校

ホーチミン日本人学校(ベトナム語: Trường Nhật Bản ở Thành phố Hồ Chí Minh、英語: Japanese School in Ho Chi Minh City)は、ベトナム在住日本人のための初等・中等教育を行う日本人学校で、正式名称を「在ホーチミン日本国総領事館付属ホーチミン日本商工会立ホーチミン日本人学校」といいます。名前のとおりホーチミン日本商工会議所が設置者であり、学校運営委員会が運営主体となっている私立学校です。



平成 9(1997)年 4 月の設立当初 43 人であった児童生徒数は、令和 7 年 4 月には664人と、年度当初としては過去最高となりました。児童生徒数の増加に合わせて校舎増築も行われており、現在建設中の第5期増築校舎は4階建てで今年未完成予定となっています。

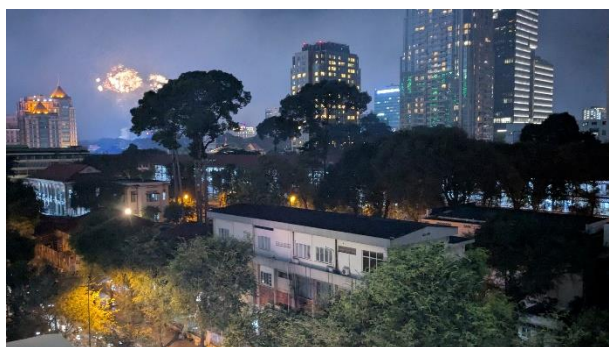
校舎はホーチミン市の 7 区にあり、児童生徒の多くは市内各方面を走る 26 台のスクールバスを利用して通学しています(徒歩通学や自家用車による送迎、タクシー通学の児童生徒もいます)。さすがに設立当初の校舎には古さも見えますが、7人のベトナム人用務スタッフのおかげで、清潔で快適な環境が維持されており、「冷房完備の体育館2棟」「簡易屋根付き25メートルプール」「人工芝の屋外グラウンド」などと、とてもめぐまれた教育環境です。



「南部解放50周年」

街中でたくさん見られるこの看板、ベトナム南部解放 50 周年記念式典に関わってのものです。

50 年前の昭和50(1975)年 4 月 30 日、サイゴンの南ベトナム大統領官邸の正門に 2 台の戦車が突入しサイゴンが陥落、ベトナム戦争が終結しました。4 月 30 日の「南部解放記念日」はベトナムの祝日であり、今年は特に 50 周年ということで大々的な式典や記念行事が行われました。



メイン会場だった統一会堂(元「南ベトナム大統領官邸」)までは私の家から歩いて 10 分ほどですが、道路封鎖の規制で行けずに残念。家の窓から花火が少しだけ見えました。